

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (中等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTS1103
2. 授業担当教員	駒井 隆治		
4. 授業形態	講義、ディスカッション、発表、グループ学習等	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係	教育学概論 (中等) の単位を取得してから履修することが望ましい。中学校教諭、高等学校教諭の資格取得を目指す者とする。		
7. 講義概要	<p>教育課程とは、教育機関 (学校) がその教育目標 (学校の教育目標) を達成するために児童・生徒に提供する教育内容と学習経験の組織である。本講義では教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することを目的としている。</p> <p>まず教育課程の思想や教育課程編成の方法原理・理論を取り上げ、教育課程を編成する上で基本的な概念について学習する。そして学習指導要領における教育課程編成の目的について理解を深め、学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶ。さらに学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することの大切さについて学んでいく。</p> <p>これらの学習を通して、学習指導要領の基本的方向について理解し、教師として必要となる資質・能力の基礎を養う。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程の思想や理論、教育課程と教育評価の関係を学ぶことによって、教育課程編成の方法に関する基本的な用語や概念を理解し、説明することができる。 2. 学習指導要領における教育課程編成の目的や学習指導要領の変遷の歴史を辿り、各時代における主な改訂内容と社会的背景について学ぶことを通して、教育課程の意義を理解することができる。 3. 学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解し、教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握することを学び、学校の教育課程全体を評価し、マネジメントする上での基本的な知識を身に付け、活用することができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ① 毎回、授業の最後にリアクションペーパーを提出する。 ② 期末試験は行わず、期末レポート (1,000字程度) を提出する。 <p>この科目の学修には、上記①と②の提出及び毎回の授業への積極的な参加が必須である。やむを得ず欠席 (公休も含む) した場合には、授業の資料を熟読して200字程度コメントを書いて次回まで提出する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 山崎保寿『未来を拓く教師のための教育課程論』学陽書房、2019</p> <p>【参考資料】 中学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 高等学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成に関する基本的な用語や概念を理解することができたか。 ・学習指導要領における教育課程の意義を理解することができたか。 ・学習指導要領に規定するカリキュラム・マネジメントについての意義や重要性を理解することができたか。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	教育課程は、児童生徒への全教育活動に関わる基本的な考えを示すものです。児童生徒の成長を促し、意欲を高めるために大切な学びです。学校での実践と関連させ積極的に学修することを期待します。		
13. オフィスアワー	初回の授業で知らせます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	【オリエンテーション】講義の概要や成績評価方法等を知る。教育課程の概要を知る。	事前学習	教科書で教育課程の意義を調べる。
		事後学習	教育課程の定義・構造・変遷を整理する。
第 2 回	○教育課程に関する法的根拠と学習指導要領を調べる。	事前学習	小中学生の頃の学校の時間割について思い出す。
		事後学習	教育課程の法的根拠を理解する。
第 3 回	○近代日本の教育課程について調べる。	事前学習	教育方法の歴史を調べる。
		事後学習	教育方法の発展を理解する。
第 4 回	○学習指導要領の改訂の変遷を調べる。(昭和編)	事前学習	学習指導要領「総則」を読んでくる。
		事後学習	昭和期の学習指導要領の変遷を調べる。
第 5 回	○学習指導要領の改訂の変遷を調べる。(平成編)	事前学習	平成期の学習指導要領の改訂について調べる。
		事後学習	平成期の学習指導要領の変化を理解する。
第 6 回	○「総合的な学習の時間」の創設の経緯を調べる。	事前学習	「総合的な学習の時間」創設の経緯を調べる。
		事後学習	「総合的な学習の時間」の意義と実践の考え方を理解する。
第 7 回	○「総合的な学習の時間」の実践例に学ぶ。	事前学習	「総合的な学習の時間」の実践例を調べる。
		事後学習	「総合的な学習の時間」の意義を考える。
第 8 回	○カリキュラム・マネジメントの理論と実践について調べる。	事前学習	カリキュラム・マネジメントの事例を調べてくる。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントの意義をまとめ

			る。方策をまとめる。
第9回	○アクティブ・ラーニングの先行研究を調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングの定義を調べる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングの意義をまとめる。
第10回	○アクティブ・ラーニングの実践例に学ぶ。	事前学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの違いを調べてくる。
		事後学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの連動についてまとめる。
第11回	○カリキュラム・マネジメントにおける評価の留意点と主要な観点について調べる。	事前学習	カリキュラム・マネジメントの評価を考える。
		事後学習	カリキュラム・マネジメントの評価の生かし方を考える。
第12回	○「アクティブ・ラーニング」と「カリキュラム・マネジメント」の関係を調べる。	事前学習	アクティブ・ラーニングの実践の課題を考える。
		事後学習	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントのかかわりを理解する。
第13回	○「社会に開かれた教育課程」―「チーム学校」、「コミュニティ・スクール」について調べる。	事前学習	教育課程と地域のかかわりを考える。
		事後学習	地域に開かれた教育課程の重要性を理解する。
第14回	○近未来の教育～「SDGsの教育」、「GIGAスクール」の研究	事前学習	近未来の教育課程を考える。
		事後学習	近未来の教育について展望する。
第15回	○「これからの教育課程」について考え、小論文に書いてまとめる。	事前学習	これまでの教育課程についての学びを振り返る。
		事後学習	これからの教育課程についての自己の考えをもつ。